



MITAKA Education Board みたかの教育

紙面から2面/マルチメディアページのご紹介/長期欠席・不登校状況にある児童・生徒への支援の在り方に関する研究会を設置しました/次期教育ビジョン(仮称)の策定に向けた取り組みを進めています/川上郷自然の村体験イベント「星空観望」ほか

三鷹市教育委員会 ☎0422-45-1151(市役所代表電話)

令和5年 2023.9.17



地域とともにある学校づくり

三鷹市の各学園・学校では、「地域とともに育てる」を合言葉に、保護者や地域の皆さまにご協力をいただきながら、さまざまな教育活動に取り組んでいます。今回は、その取り組みの一部をご紹介します。 ⇨教育政策推進室 ☎29-8349



学習支援ボランティア

子どもたちにとってより充実した学びの場となるよう、日々の授業をはじめ、幅広く学校生活のサポートをしています。算数などの授業や、朝の読み聞かせ、身体測定・体力測定、校外学習の引率の補助などを行っています。事前登録の説明会やボランティア同士の交流会などを開催している学園・学校もあります。



三鷹中央学園

朝の読み聞かせサポート

地域と連携した授業

地域の方を外部講師として招くなど、地域と連携した授業を実施しています。特に、令和4年度からおおさわ学園を教育研究協力校として指定し、地域の力を子どもたちの学びに活かす研究を進めています。教員が国立天文台や大沢の里古民家などの地域の施設を見学し、地域への理解を深めるとともに、地域の人財が参画した授業づくりに取り組んでいます。



おおさわ学園

国立天文台での特別授業

みたか地域未来塾

子どもたちの学習習慣の定着と基礎学力の向上を図るため、大学生や地域の方が学習支援員として学校と連携しながら放課後の学習支援を行っています。子どもたちは、学習支援員のアドバイスを受けながら、習熟に応じた学習プリントや学校の宿題などに取り組んでおり、学校ごとに工夫しながら、放課後の学びの充実を図っています。



東三鷹学園

学習支援員とともに学習プリントに取り組む様子

スクール・コミュニティ推進員が活躍しています

こうした取り組みを支えているのが「スクール・コミュニティ推進員」です。学校と地域をつなぐコーディネーター役として、平成30年度から各学園に順次配置し、令和3年度からは全ての学園に配置しています。スクール・コミュニティ推進員が中心となって、教員と保護者や地域の皆さまとの調整を行っています。



子どもたちの学びの充実に向けて頑張っています。引き続き皆さまのご協力をよろしくお願いします。

「コミュニティ・スクール」「スクール・コミュニティ」といったキーワードについて解説したリーフレットを作成しています。ぜひご覧ください。



令和5年4月～8月の主な審議案件と活動

教育委員会では、毎月、定例会を開催し、基本方針の決定や規則の制定改廃などの議案について審議を行っています。また、学校訪問を実施し、学校経営・授業などに対し指導・助言を行うほか、保護者との懇談会や学校の研究発表会、都内教育委員会相互の連絡会に出席するなど、学校の状況や教育行政をめぐる諸課題の把握に努めています。教育委員会の会議の開催予定や会議録は、市ホームページに掲載しています。

- 4月
 - 令和5年度事業計画の承認
 - 三鷹市教育委員会事務局処務規則の一部改正
 - 教育長の文部科学省初等中等教育局視学委員の兼職
 - 三鷹市いじめ問題対策協議会委員の委嘱又は任命
- 5月
 - 教育施策連絡協議会
 - 東京都市町村教育委員会連合会理事会
- 6月
 - 三鷹市教育委員会職員の勤務時間、休日、休暇等に関する規程の一部改正
 - 三鷹市いじめ問題対策協議会委員の委嘱
 - 三鷹市立図書館協議会委員の任命
 - 三鷹市社会教育委員の委嘱
 - 学校訪問(北野小学校)
- 7月
 - 令和5年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価(令和4年度分)
 - 三鷹市社会教育委員の委嘱
 - 教科用図書採択に係る懇談会
- 8月
 - 令和6年度使用小・中学校教科用図書及び小・中学校教育支援学級用教科用図書の採択
 - 令和5年度一般会計補正予算見積書
 - 東京都市町村教育委員会連合会理事会・理事研修会

※○は会議の案件、●は会議以外の活動
↓総務課 ☎29-9811

教育委員会の活動について

「不登校」について



教育委員会 委員
まつばら たくろう
松原 拓郎

このコラムが掲載される号では、「長期欠席不登校状況にある児童・生徒への支援の在り方に関する研究会」の紹介記事が掲載されています(裏面)。実は、私の子どもは、三鷹ではありませんが、中学生時代に「不登校」を経験しました。最初は起立性調節障害により約1年間、登校ができなくなりました。体調が回復したあとは学校のあり方に疑問を感じ、今度は自ら「不登校」となりました。子どもが最初に体調を崩して学校に行けなくなったときの不安感は忘れられません。いつ回復するのか、そもそも回復するのかわからないまま、特に最初は病名もわからない状態で、これからどうなるのだろう、という思いでした。その後幸いにして子どもの体調は回復しましたが、前述の通り、今度は自ら「不登校」となりました。このときも、親としては子どもの選択を尊重しつつも、子どもの将来への不安がなかったかと言われれば、それは嘘になります。保護者の立場でこの経験をしたことで、私はこれまで見ていなかった世界を見ることになりました。約2年間自分が身を置いたその世界で、それまでは見えなかった、同じく「不登校」の、他の子ども・保護者の姿も見るようになりました。学校に求めることが人によりさまざまであることと同じく、「不登校」と言ってもその姿はさまざまで、「一律」論じることができません。しかし一つ感じたこととして、多くの子どもや保護者は、「不登校」でも、学校やそこにいる先生には、自分たちと「向き合う」ことを求めているように思います。そして「向き合う」ことは、今現在学校に通っている子どもや保護者にとっても大事な、教育活動の基本だと思えます。「不登校」への取り組みは、学校のあり方、子どもや保護者との関わり方、また、特にうまく自分を表現できない人や弱い立場に置かれ声をあげられない人への関わり方、そしてより広く言えば「人生のあり方」への問いかけを含んでいるのでしょう。

令和6年度に市立小・中学校で使用 する教科書を採択しました

8月に開催された教育委員会定例会で、令和6年度に市立小・中学校で使用する教科書を採択しました。

◆採択した令和6年度使用小学校教科書

教科など	教科書名	発行会社名
国語	国語	光村図書出版
国語(書写)	小学 書写	教育出版
社会	新編 新しい社会	東京書籍
社会(地図)	新編 新しい地図帳	東京書籍
算数	新編 新しい算数	東京書籍
理科	新版 たのしい理科	大日本図書
生活	新編 新しい 生活	東京書籍
音楽	小学音楽 音楽のおくりもの	教育出版
図画工作	図画工作	日本文教出版
家庭	新編 新しい家庭	東京書籍
体育(保健)	新版 たのしい保健	大日本図書
外国語(英語)	Here We Go!	光村図書出版
特別の教科 道徳	道徳 きみが いちばん ひか るとき	光村図書出版

※中学校は令和5年度と同一の教科書を採択しました。

※小・中学校教育支援学級は通常の学級と同一の教科書を採択しました。
⇒指導課 ☎ 29-9819

マルチメディアデジタライズのご紹介

三鷹市立図書館では、視覚による情報の取得が困難な方に対するサービスとして録音図書(デジライズ図書、カセットテープ)の貸出や老眼鏡、ルーペなどの館内貸出を行っています。視覚に問題は無くとも、言葉の意味を理解する速度などが原因となり、読むことが困難になることがあります。このような方に読書を支援するサービスとして、マルチメディアデジライズの貸出を行っています。

マルチメディアデジライズはパソコンを使って閲覧します。画面上でテキストがハイライトされ、その部分が音声で読み上げられるので、どこを読んでいるかが分かると同時に、耳からも情報を得ることができます。文字を読むことに関する負担が減るため、言葉の意味を考えたり内容を理解したりしやすくなるという特徴があります。

ご利用には利用登録が必要です。詳しくは三鷹図書館(本館)へお問い合わせください。
↓三鷹図書館(本館) ☎ 43-9151



マルチメディアデジライズのイメージ



長期欠席・不登校状況にある児童・生徒への 支援の在り方に関する研究会を設置しました

市立小・中学校の令和3年度の長期欠席・不登校の児童・生徒数は419人であり、前年度の約1.8倍となっています。全国的にも長期欠席・不登校の児童・生徒数は増加傾向にあり、その支援は喫緊の課題となっています。このような状況を踏まえ、教育委員会では、「長期欠席・不登校状況にある児童・生徒への支援の在り方に関する研究会」(以下、研究会)を設置しました。

●研究会の委員

- ・教員(校長代表、生活指導主任代表、教育支援コーディネーター代表)
- ・保護者代表
- ・学識経験者(医療、心理、学校教育)など

●研究会の主なテーマ

- ・長期欠席・不登校の実態把握・分析
- ・校内教育支援センターの設置
- ・学びの多様化学校(いわゆる不登校特例校)の設置
- ・メタバースの活用による学習や交流の場の提供

子どもたちの将来の社会的な自立に向けて、実態把握をしっかりと行い、現在悩んでいる、苦しんでいる子どもたちに適した支援が行き届くように、既存の施策の検証や新たな取り組みの推進に向けて活動していきます。

⇒学務課 ☎ 29-9865

⇒指導課 ☎ 29-9819

令和4年度 三鷹市立小・中一貫教育校(学園)評価・検証を実施しました

各学園では、コミュニティ・スクール委員会による学校関係者評価を経て、その年の学園運営、教育活動などの成果や、課題と改善策、課題解決のための創意工夫、改善策の有効性などについて評価・検証を行い、結果を年度末に教育委員会に報告しています。

報告書は、市ホームページに掲載しています。 ⇒指導課 ☎ 29-9819



令和4年度 教育委員会主要事務事業の点検・評価を実施しました

教育委員会では、令和4年度の主要事務事業の実施状況について、点検・評価を行い、結果を報告書にまとめました。この報告書は、コミュニティ・スクールにおける支援や活動の新たな実施体制についての検討・実証など、12の主要事務事業について、進捗状況や成果を評価し、今後の取り組みと課題を明らかにするものです。

報告書は、市ホームページ、市政資料室(本庁舎2階)、図書館各館および総務課(教育センター1階)で閲覧できます。 ⇒総務課 ☎ 29-9811



次期教育ビジョン(仮称)の策定に向けた 取り組みを進めています

教育委員会では、次期教育ビジョン(仮称)の策定について、第5次三鷹市基本計画などと整合を図るとともに、市民や関係者との幅広い議論を行いながら検討を進めることとしています。 ⇒教育政策推進室 ☎ 29-8349

生徒との意見交換

子どもたちからの意見を聴くため、7月から8月にかけて各学園の中学校の生徒代表と教育委員会事務局職員との意見交換を行いました。生徒の皆さんは、「学校でどんなふうに学びたいか」や「学校がどんな場所だったらうれしいか」といった普段はなかなか考えないようなテーマにも、積極的に意見を出してくれました。



第二中学校での意見交換



いろいろな人と交流して話し合いながら、お互いに学び合える学校だったらいいな

自分の考えや好きなことを理解して、将来の選択肢を広げたい!



教員との教育政策対話

8月3日に開催された「教育政策対話」では、令和4年度に実施した「教員による政策提言ワークショップ」での提言に対する教育委員会の取組状況を報告するとともに、グループに分かれて教員と教育委員会事務局職員との意見交換を行いました。参加した教員は、教育委員会の施策について理解を深めながら、それぞれが持つ現場での思いや考えを共有しました。



教育政策対話でのグループワーク

紹介したホームページなどは、記事内の二次元コードからもアクセスできます。



川上郷自然の村体験イベント「星空観望」 参加者を募集します!

標高約1,500mの高地に位置する川上郷自然の村は、星空観望に適した条件が揃っており、晴天時には満天の星を望むことができます。講師によるわかりやすい解説が好評で、小さなお子さんにもおすすめです。

【日時】11月18日(土) 午後6時から

【料金】大人4,000円・小学生3,000円・幼児(3歳以上)1,000円

【申込】11月4日(土)までに、川上郷自然の村へ電話でお申し込みください(先着順)。

※宿泊料金は別途かかります。

※三鷹市役所発着のバスは運行しませんので、ご注意ください。

※天候などにより、イベント内容を変更する場合があります。

宿泊の 問合せ

川上郷自然の村
〒384-1406 長野県南佐久郡川上村大字原591番362
☎0267-97-3206 FAX0267-97-3207
HP <http://www.sizennomura.jp/>

JRをご利用の方は、最寄駅(信濃川上駅)まで車で送迎します。宿泊申し込みの際にご予約ください。